



連 合
鳥 取

中部地協ニュース

日本労働組合総連合会 鳥取県連合会 中部地域協議会
〒682-0804 倉吉市東昭和町 286-2 TEL23-7205 FAX23-7206

No. 5 2017. 7.11

発行責任者 鈴木和夫

編集責任者 山田秀之



中部地協 Facebook

政治を身近に感じる「政策実現集会」を開催

連合鳥取中部地協は、6月7日（水）、倉吉シティホテルにおいて「政策実現集会」を開催し全体で40人の集会を行いました。

◆集会主旨◆

連合政治アンケート結果により「比較的政治に興味を示さない」とされている青年・女性を中心に参加を求め、「政治とは生活に密着している」ことへの理解を高める目的で開催。

◆主催者挨拶◆

各地方議員の活動を報告していただき、政治に興味を持ち、知識を高め投票行動につなげて頂きたい。

◆推薦議員活動報告◆



「震災対応による財源不足・公契約条例」について報告

福井康夫倉吉市議会議員



「教員と市職員の長時間労働」について報告

中野 隆倉吉市議会議員



行政情報は多いので分からないことは連絡を下さい

津川俊仁北栄町議会議員

◆講演／「湯原俊二が目指す政治」湯原俊二さん（衆議院選挙鳥取第2区予定候補者）

○民進党と自民党の政策の違いは・・・

民進党は「ヨーロッパ型社会」を目指している。

小泉・安倍政権から自民党は「アメリカ型社会」を目指して格差が拡大している。

だから民進党はヨーロッパ型のように子育て・教育費に予算を増やし、家計支出の比重を軽減することで少子化にも歯止めを掛けたい。

○「共謀罪法案」の問題点・・・国連特別報告官も「内心への介入」「思想信条の自由」に触れることの懸念をするレポートを出すくらいの問題のある法案である。



熱く語る湯原俊二さん

◆グループ討議

「私たちが暮らしやすい街とは」をテーマに5グループ（女性2・男性3）に分かれて討議を行い、その内容を発表しました。

その主な内容は、①予算が無いのであれば都市型の一極集中型の街づくりをする、②犯罪のない街・安全な街、③子育てが充実した街、④ちょっと飛びぬけた発想が必要（テーマパーク・ショッピングモール・山陰新幹線など）、⑤水道料金のカード払い・手続きのインターネット化、⑥求人数と職種が少ない、⑦住みやすいが面白みが少ない、⑧長時間労働の改善、⑨子育て問題の前に結婚が大切、出会いがない、⑩若者の活動拠点（娯楽がない）などの意見が発表されました。



グループ討議の様子

社会貢献活動として北条砂丘を清掃

中部地協の社会貢献活動は、7月2日（日）北栄町の「北条オートキャンプ場」近くの北条砂丘を清掃するため23単組91人（推薦議員含む）の参加がありました。

まず最初に、鈴木議長が「参加者に取り組みに対する協力のお礼」を述べ、湯原俊二さん（民進党県連副代表）が来賓を代表しての挨拶を頂きました。そして、北栄町役場生活住民課長からは「取り組みのお礼と清掃活動における諸注意※」を受けてから活動を開始しました。

活動は1時間を予定していましたが、意外とごみが少なかったこともあり活動を早めに切り上げ、バーベキューの準備が間に合わないという想定外のことになりましたが、参加者はおいしい肉にうなずきながら、推薦議員との意見交換で懇親も深まり、充実した1日となりました。

※分別収集やハンゲル文字の容器に入っている液体などは回収しないなど



全体による写真

